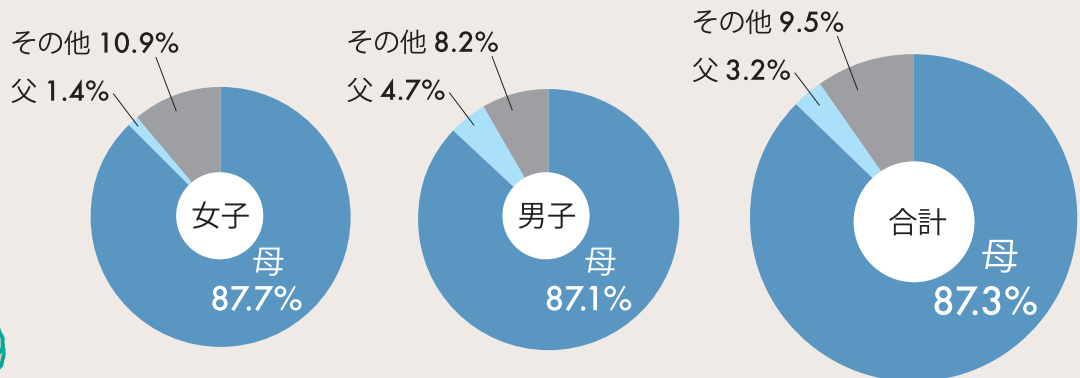


「女らし」「男らし」より、
もっと大切なものは
何だ？

家庭で主に家事を行っている人は誰ですか



「ねっとわあく」編集部によるアンケート(平成21年6月)



恋愛チェックシート

恋愛相手に望むものを通して、男女の固定観念を探ります。
チェック項目が多いほど固定観念が強い…ということに。

男子用

- 恋愛の相手としては…
- 料理がうまい方がいい
 - 自分より背が低い方がいい
 - 気配りできる方がいい
 - おしとやかな方がいい
 - かわいい方がいい
 - 自分より頭のいい子はいやだ
 - 告るのは男子からだ
 - デートでは男子がリードするべき
 - デートでは男子がおごるものだ
 - 重い荷物を持つのは男子だ

女子用

- 恋愛の相手としては…
- 頼りがいがある方がいい
 - 自分より背が高い方がいい
 - スポーツ万能がいい
 - イケメンがいい
 - 面白い方がいい
 - 頭がいい方がいい
 - 告るのは男子からだ
 - デートでは男子にリードしてほしい
 - デートではおごってほしい
 - 重いものは男子が持つものだ



豊島／僕は「自分より背が低い」につけました。

石川／私は「頼りがいがある」です。山田／「デートでは男子がリードしてほしい」です。

市井／「料理がうまい」につけました。川野／それぞれに答えが違いますが、背の高さについては、男子の豊島君は「自分より背が低い」ことが条件で、女子の深沢さんは「自分より背が高い」ことが条件ですね。これは性別は違うけれど、考え方は一緒ですね。

大畑／チェックシートの中に「気配りができる」という項目がありますよね。午前中のワークシヨップの「キャラクター性別当てクイズ」で「気配りができて面倒見がいい」という個性を、女性だと判断とした人が多かったんです。正解は男性だったけれど、どうしてみんなは女性だと思ったのでしょうか。

石川／う〜ん。なんとなく。大畑／男性には、気配りできるイメージがあまりないのかな。

深沢／私は、気配りできる人という条件は、男子にも女子にも共通していると思う。

川野／坂根さんは、恋愛チェックシートで大切な項目として「気配りができる」を挙げていますね。それは、女性にとって必要な条件ということですか。

坂根／「気配りができる」人とは、男

山田／私は作ってあげたい。石川／料理の内容によりますね。簡単なものしか作れないから。

川野／バレンタインのチョコとかは作ったことありますか。石川／チョコレートくらいなら作ります。

大畑／大学生の私も作りますよ。彼に「作って」と言われたらね。川野／相手から望まれたら作るんですね。じゃあ逆に、男子はバレンタインに手作りチョコが欲しいでしょうか。

坂根／手作りがいいですね。市井／もらえらるなら、手作りでもそうでなくてもうれしい。

豊島／僕も、もらえらるならどっちでもいいけど、どっちかというとなんか手作りがいいかな。

大畑／男子のみんなは、もし手作りチョコをもらったら、お返しはどうしますか。手作りするの？

坂根／しません。

市井／僕もしない。作ってもうまくできないから。



女を問わずに他人のことを思いやれる人。だから性別に関係なく好きです。「気配りができる」というところが、女性だけに求められているものだと思います。

料理上手な彼女、背の高い彼。でも、そうじゃなくてもかまわない

川野／前半のワークシヨップでは、こういう特性は男性、こういう特性は女性、と比較的単純に決めていた部分もあるけれど、恋愛チェックシートではまた違う形で、男女の固定観念が浮き彫りになってきたように思います。その一例として「料理がうまい」という項目について考えてみましょう。市井さんはチェックシートで、恋人に望む条件の一番として「料理がうまい」を挙げています。女性は料理が上手なほうがいいですか？

市井／自分で料理してもいいけど、できれば相手にやってもらいたいです。

坂根／私も、どちらかと言えば女性にやって欲しい。料理はその人の性格が出ると思う。

豊島／僕も料理をしてもらいたいです。でも、たまには自分が作ってあげてもいいかな。

川野／女子の意見はどうですか。将来、彼氏から「料理を作って」と言われたらどうしますか。

豊島／しないとと思う。でも、手作りのものをもったら、本当は手作りで返すべきかなとは思っています。

川野／女子はどうですか。手作りで返して欲しい？

深沢／返してくれるならどっちでもいい。友達で、男子でも手作りで返している子がいます。

山田／どっちかというとなんか手作りがいいけど、返してくれるならどっちでもいい。

石川／どっちでもいいけど、手作りにおいしかったらすごいなって思う。

川野／なんとなく、男子と女子では、料理をすることに對する意識の違いがあるようですね。やっぱり「料理は女の子がするもの」というイメージがあるのでしょうか。例えば、男性は彼女や奥さんに「手料理が食べたい」と言うことがあると思いませんか。女子はどうですか。彼にそういうことを言いますか？

石川／言わないかも。男子は、料理が下手そうないイメージがあるし。

山田／料理が得意な人ならいいけど、苦手そうなんだと大変だと思

うから言いません。



キーワード集



ジェンダー

人間には、生まれつきの生物学的性別(セックス)がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」があり、このような男性・女性の別を「社会的性別」(ジェンダー)という。「社会的性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含まず、国際的にも使われている。

固定的性別役割分担

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に決めること。「男は仕事・女は家庭」「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、役割を決めている例。

女子差別撤廃条約

1979年の第34回国連総会で、130か国の賛成を得て採択され、我が国は1985年に批准した。あらゆる分野における性別差別を撤廃し、男女平等を達成するために必要な措置を定めている。

男女共同参画

男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、また、その機会が確保されることにより、男女が均等に政治的、経済的、社会的、及文化的利益を享受し、共に責任を担うことを行う。

男女共同参画社会基本法

男女共同参画社会の形成の基本的枠組みを国民的合意の下に定め、社会のあらゆる分野の取り組みを総合的かつ計画的に推進するために、1999年6月23日に公布・施行された法律。5つの基本理念と、国、地方公共団体、国民の責務について規定している。

静岡県男女共同参画推進条例

県における男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを一層確実なものとするため、男女共同参画社会基本法の基本理念にのっとり、県の基本的施策を示すとともに、県、県民、民間の団体の責務を明らかにしている。2001年7月24日に公布・施行された。

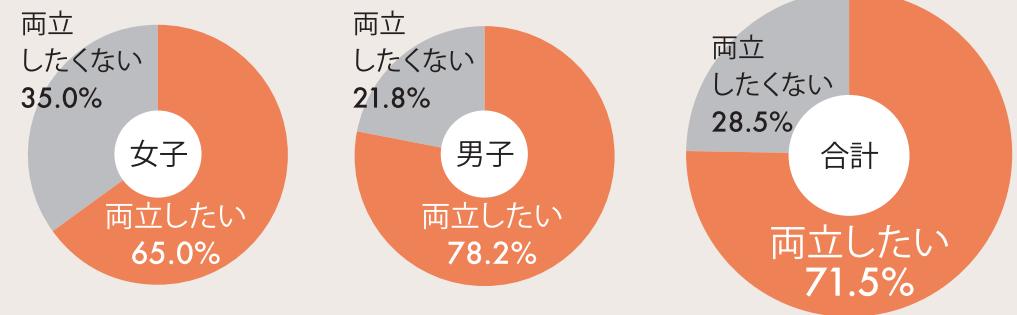


「せうは」「男らせいよ、
もつと大切なものほ
何だろ？」



キャラクターの性別当てクイズに、「うーん」と考え込む姿も

将来、結婚して子どもを育てることになった時、
あなたは仕事と家事育児を両立したいと思いますか



「ねっとわあく」編集部によるアンケート(平成21年6月)

川野／男子は料理が苦手というイメージがあるのかもしれないね。ただ、料理の得意不得意は性別に関係ないものだし、好き嫌いもありますよね。相手に料理を作ると頼む時は、そういう心配りが必要かもしれません。

大畑／次に、全員がチェックシートで丸をつけた背の高さへのこだわりについて、考えてみましょう。男子は全員「自分より背が低い」女子を望み、女子は全員「自分より背が高い」男子を望んでいます。その理由を教えてください。

市井／自分が相手を見上げるのはちょっとイヤかな。

豊島／女子に見下されるのは：。背が高い女子と一緒にいると、自分が小さいことを強調してるみたいだし。

石川／やっぱり私も、自分より低いと弟みたいに思えちゃう。それに、男子が大きいほうが頼りがいがある感じだから。

深沢／自分が背が低いから、背が高いお兄ちゃんのような人がいい上から見下ろして欲しい。

山田／それもありません。自分が自分より背が高いというのは、絶対的なこだわりではなくて、できれば：という程度の希望だから。

川野／理想としては、男子が女子より背が高いほうがいいけれど、現実にはそうじゃなくてもかまわないということかな。

大畑／みんなの料理を作ることへのこだわり、身長へのこだわり、男女の固定観念が見え隠れしていたように感じました。でもよくよく話をしていくと、それが絶対的なものではなく、性差によるこだわりは少ないということも伝わってきました。ではここで一度休憩しましょう。

今の性が好きだけど、異性になってみたい気持ちもある



ドメスティック・バイオレンス(DV)
配偶者・パートナーからの身体的・精神的な暴力のこと。単に殴る蹴る等の身体的暴力だけでなく、威嚇、無視、行動の制限など、心理的な苦痛を与えることも含まれる。



坂根／私は、女子に見下されると自分が情けなく感じます。対等な感じがなくなるといいますか。女子に高いところのものを取ってもらったりすると、男としての立場がない。

川野／男子は、自分より背が高い女子だと見下されそう、女子は、自分より低い男子だと弟みたい、というのが共通の意見ですね。それに対して異性側の意見を聞きたいです。女子は、自分が男子より背が高いと、対等じゃない感じがしますか。

山田／特に意識していません。

深沢／その時の状況によります。

大畑／みんなの意見をまとめると、男子が女子より背が高いカップルが理想的ということになります。でも、最近では女の子も背が高くなっているし、ヒールの靴を履いたりすると男の子より背が高くなっちゃいますよね。街でもそういうカップルをよく見かけるとは思います。それにに対してはどう思いますか？

坂根／それもありませんか？

深沢／それは身長だけではないし、愛の基準は身長だけではない。

深沢／極端に身長が違うのははいやかな。だいたい同じくらいなら、まあいいと思う。

石川／別にいいんじゃないですか。その人たちの問題だから、本人たちがよければいいと思う。でも自分のこととしては、あまり想像できない。

豊島／他人は他人、自分は自分。

児童虐待
親などの養育者によって引き起こされた、子どもの心身の健康を損なうあらゆる行為をさす。2000年に「児童虐待防止法」が成立。

セクシュアル・ハラスメント
性的な言動に対する相手方の反応によって不利益を与え、または性的な言動により相手方の生活や環境を害すること。



次世代育成支援対策推進法
2003年7月16日公布・施行された法律。次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境整備を進めるため、国や地方公共団体による取り組みとともに、事業主も仕事と子育ての両立を図るために必要な雇用環境の整備を進めるための行動計画を策定、実施することとされている。



育児・介護休業法
正式には「育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」という。労働者が申し出をすることによって、育児休業・介護休業を取得することを権利として認めている法律。



男女雇用機会均等法
正式には「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」という。1986年に施行され、1997年6月に、女性に対する募集、採用、配置などの差別禁止規定や、セクシュアル・ハラスメントの防止などの雇用管理上の規定を新設するなどの改正が行われた。

「女らし」「男らし」より、
もっと大切なものは
何だろう

参加者の足元は、全員パンツスタイルに
がっちりスニーカーやサンダル。
男々の差はまったくありません



なんと偶然にも同じブランドの
黒いペンケースが3つ!
うち2つは女の子のもの



「男女共同参画」は、性差の固定観念や差別をなくして個人の個性や人格を尊重し、誰もが自分らしく生きられる社会を作っていくために大切なことです。

「男女共同参画」をより深く理解するために、みなさんに「世界人権宣言」というものを知ってほしいと思います。谷川俊太郎さんという方が分かりやすい本を出していますので、ぜひ読んでください。最後に、今日のワークショップと座談会の感想を教えてください。

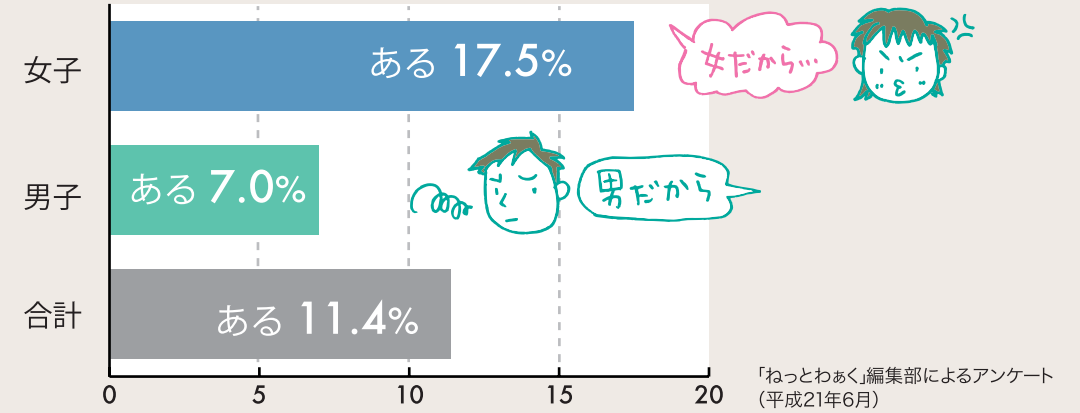
市井／座談会を通して、私は男性と女性にそれぞれ固定観念を持っていることが分かりました。今日の体験を生かして、これからはあまり固定観念にとらわれずに生きていきたいと思いました。

山田／ワークショップをやってみて、自分の中に「男はこうで女はこういうもの」という考えがあるのに気づきました。でもそれは勝手に決めつけてしまっていることで、本当は一人一人が自由なんです。

これからは「男子はこう、女子はこう」と決めつけないで、個人の意見を大切にしたいと思います。

豊島／女子は女子、男子は男子でお互い考えが違うのはおもしろい

自分が女である、男であることを理由に、嫌な思いをしたことがありますか



女だから...

男だから

大畑／男子3人は、全員「生まれ変わったって男がいい」という答えでしたが、女子を見ていて「うらやましいな」と思うことはありますか。

豊島／ケンカになって相手に手を出した時、男子が女子を叩くとすごく怒られます。でも、女子が男子を叩いてもそれほど怒られない。どう見ても女子のほうが悪い場合もあるのに。

市井／マラソンで走る距離が男子のほうが長い。女子は短くて楽でいいと感じます。

川野／では同じ質問で、女子のみならずどう答えますか。

山田／次は男になりたいです。女子は今体験しているから、次はぜひとも男子を体験してみたい。

深沢／私も男になりたいです。男子は女子と考え方が違うから、興味がありません。

石川／私は女がいいです。今、女子で気楽に生きているから。

大畑／男子のみんなから、「女子は大変、面倒くさい」という意見が出ましたが、それに対して当事者である女子たちはどう思いますか？

山田／男子の言っていることは、だいたい当たっているかな。

深沢／男子と女子では、人間関係の深さや濃さが違うと思います。女子は友達との関係が深い分、面倒なことも多い。

石川／私は気の合う友達と仲良く

やっているから、女子でいることに満足しています。それに人間関係の問題は、男女に関係なくあるものだから。

川野／ではもう一度アンケートに戻って下さい。問6で「自分が女である、男であることを理由に、嫌な思いをしたことがありますか」という質問があります。これに対してはどうですか。

坂根／特にないです。

市井／僕もありません。

豊島／ないです。

深沢／トイレとか着替えが面倒なのが嫌です。

石川／私はないです。

大畑／アンケートの回答を見ると、男子よりも女子のほうが、自分の性のために嫌な思いをしていることが多いようです。このあたりの性差もよく考えてほしいです。

「男子は」「女子は」と決めつけず、個人の意見を大切にしたい

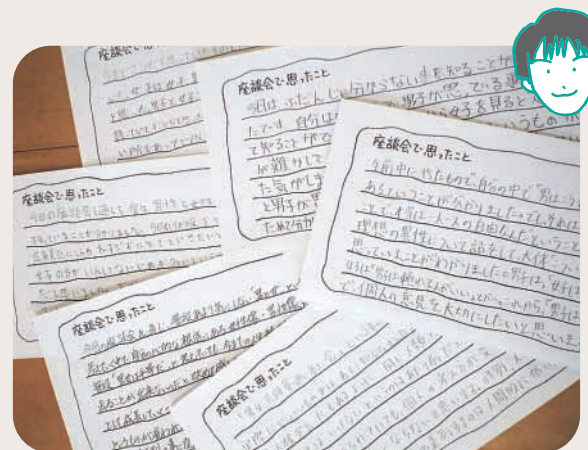
川野／午前中のワークショップが始まって、座談会では恋愛チェックシートやアンケートを使って、男女の性差に対する固定観念について考えてもらいました。男子と女子は平等だと思っても、みんなが無意識のうちに「女だから」「男だから」と決めつけていることがあるのに、気づいてもらえたでしょうか。

と思いました。また、どの人もいい意見を持っていてすごいなと思いました。

坂根／日頃、あまり気にしていない「男と女」という性別をクローズアップして考えていく中で、自分の根底にある女性像、男性像を見出すことができました。「男女は平等だ」と理解していても、今までの経験から生まれた先入観は消し去ることができないと改めて感じました。今後、大人になるまでにいろいろな体験をすると思います。できるだけ先入観にとらわれず、何事にも新鮮な気持ちで向き合っていきたいと思います。

深沢／今日は、ふだんはなかなか分からないことを知ることができて良かったです。特に、男子が考えていることを初めて知ることができました。

石川／「男女共同参画社会」というものは公民の授業で習ったけれど、実際にどういうものかはあまり知らなかったもので、良い勉強になりました。「世界人権宣言」の資料にもあるように、同じ人類なのだから差別や戦争をしてはいけないというのには当たり前だと思っても、でも、いくら法律で決められていても、個人の考え方が変わらなければ、そういつたものは絶対なくならないと思います。



ワークショップと座談会を終えて

最初は戸惑っていた中学生のみなさんですが、自分たちのことに置き換えて、性差の固定観念や、それがあつと何がよくないのか、それをなくすためにはどうしたらいいのかを、じっくり考えてくれました。「差別はよくない」、「性別より一人一人の自由を尊重したい」という彼らの意見は、これからの男女共同参画社会を推進していく上で、とても大切なものだと感じました。(編集部)



※キーワードは厚生労働省「男女共同参画局のホームページ」を参考にしました。



■仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)

働く人が仕事上の責任を果たそうとする時、仕事以外の生活でやりたいことや、やらなければならないことに取り組めなくなるのではなく、両者を実現できる状態のこと。「生活」の中には、子育てや家庭生活だけでなく、地域活動や趣味・学習などの幅広い活動が含まれる。



■ユニバーサルデザイン

年齢・性別・国籍・障害の有無などの違いを超え、最初からすべての人が利用しやすいまちづくりやものづくりを行っていくことを考える。